

森林環境教育推進事業  
**森林環境教育 事例集**

令和7年度



**鹿児島県森林技術総合センター**



鹿児島県

# 森林・林業体験学習事例集

〔森林環境教育推進事業〕

## 目 次

### ◆令和7年度 学校別体験学習事例

事例	1	鹿児島市立武岡小学校	1
事例	2	日置市立妙円寺小学校	3
事例	3	枕崎市立枕崎小学校	5
事例	4	指宿市立池田小学校	7
事例	5	南九州市立青戸小学校	9
事例	6	出水市立下水流小学校	11
事例	7	さつま町立薩摩小学校	13
事例	8	さつま町立柏原小学校	15
事例	9	霧島市立大田小学校	17
事例	10	伊佐市立本城小学校	19
事例	11	始良市立竜門小学校	21
事例	12	志布志市立香月小学校	23
事例	13	曾於市立月野小学校	25
事例	14	肝付町立神山小学校	27
事例	15	肝付町立国見中学校	29
事例	16	屋久島町立一湊小学校	31
事例	17	奄美市立住用中学校	33
事例	18	鹿児島県市来農芸高等学校	35
事例	19	鹿児島県立国分高等学校	36
事例	20	鹿児島県立大島北高等学校	37
事例	21	学校法人川島学園鹿児島工学院専門学校	38

### ◆その他資料

・森林環境教育に関する問い合わせ先	39
-------------------	----

令和7年度森林環境教育推進事業  
**鹿児島市立 武岡小学校**

1 学習・体験のねらい

森林・林業の重要性と地域において林業が果たす役割についての学習と体験活動を通じ、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業や森林を未来に引き継ぐことの意義について理解を深める。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①木材加工場見学 ②森林学習 ③木工製作体験

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和8年3月17日(火)	9:20~10:30	ワイテック鹿児島プレ カットセンター	5年生	37	2	39
②		11:15~12:15	武岡小図工室				
③		13:45~14:30					
合 計 (延べ人数)					37	2	39

5 学習・体験の進め方 (スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者 (人)
①	(株)ワイテック鹿児島プレカットセンターにバスで移動後、2班に分かれて、プレカット工場内の見学を行った。	工場内での転倒、怪我に注意	振興局 2 プレカットセンター 4
② ③	リーフレットを使用し、森林・林業・木材について学習した。また、丸太杭を利用した木工体験(モルック風道具)を通じて、森林資源としての多様な木材活用を学習した。	のこぎりや電動やすり機等の道具の取扱を注意指導	振興局 2

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	大型バス1台、ヘルメット	
②	リーフレット、丸太杭、軍手、のこぎり、電動やすり機、えんぴつ、マジック、収納容器	

7 ふり返り (担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

(児童)  
 ・家族にも森林にふれてほしいと思った。  
 ・きのこやしいたけの育ち方を知りたい。  
 ・もっと森林の働きについて知りたい。  
 (先生方)  
 ・様々な体験をさせていただきありがたい。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【木材加工工場見学】



【木材加工工場見学】



【木材加工工場見学】



【木材加工工場見学】



【木工体験】



【木工体験】



【木工体験】



【木工体験】

令和7年度森林環境教育推進事業  
**日置市立 妙円寺小学校**

1 学習・体験のねらい

地域の森林を活用して森林・林業の重要性と地域において林業が果たす役割についての学習と植樹体験活動を通じ、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業や森林を未来に引き継ぐことの意義について理解を深める。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間、理科の授業

3 森林学習・体験活動の種別

①森林学習      ②植樹体験

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和8年2月25日(水)	9:35~11:15	民有林	6年生	84	4	88
②							
	合 計		(延べ人数)		84	4	88

5 学習・体験の進め方（スケジュール）

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者（人）
①	伐採跡地にバスで移動後、リーフレットを用いて、鹿児島県の森林の現状及び森林の果たす役割、地球温暖化防止、林業、竹林・たけのこについて現地学習した後、苗木100本を植栽し、植樹体験活動を通し再生林の大切さについて学んだ。	植栽現場での転倒、怪我に注意 事前に整地	振興局 1
②			指導林業士 1

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	森林学習リーフレット	
②	現場整備、大型バス2台、クヌギ苗、移植ゴテ、軍手、山ぐわ、ハンドマイク、のぼり・ポール、救急箱	

7 ふり返り（担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋）

（児童）

- ・森や林が苦手だったけど、興味をもって好きになった。
- ・植樹もまたやりたいし、温暖化を止めるために節電等を進んでやりたい。
- ・初めて木を植えるのでワクワクした。森林や林業について興味を持てた。
- ・この体験をして、もっと森林のことについて知りたくなったし、役に立ちたいと思った。

（先生方）

- ・子供たちが「初めて」と喜んでいて、実体験をもとに環境への意識を高めてくれた。
- ・教科書だけの学びではなく、児童が実体験を通し学べて良かった。
- ・資料に沿ったわかりやすい説明で、職員も学びになった。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【1日の行程説明】



【森林学習】



【植樹体験活動】



【植樹体験活動】



【植樹体験活動】



【植樹体験活動】

## 枕崎市立 枕崎小学校

### 1 学習・体験のねらい

森林・林業の重要性と地域において林業が果たす役割についての学習と体験活動を通じ、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業や森林の意義について理解を深める。

### 2 学習・体験の位置づけ

社会科、図工、総合的な学習の時間

### 3 森林学習・体験活動の種別

①森林学習 ②薪工場・伐採現場見学 ③木工教室

### 4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和7年6月3日(火)	9:25~11:10	教室	4年	56	2	58
②	令和7年6月20日(金)	8:50~11:50	校外	4年	56	3	59
③	令和7年11月14日(金)	13:55~15:25	体育館	4年	56	3	59
	合 計	(延べ人数)			168	8	176

### 5 学習・体験の進め方(スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	森林・林業の学習活動を通じ、地球温暖化防止や生物多様性に関する森林・林業の果たす役割等について学習する。		振興局 1
②	鯉節の製造に必要な薪の加工及び伐採現場の見学を通じて、林業の作業内容や木材の循環利用等について学習する	歩行時の足下について注意喚起	振興局 4 林業事業体 4
③	県産木材を利用した、「本立て」づくりによる木とのふれあいを通じて、木工工作の楽しさと木のぬくもりについて学習する。	道具の取扱について注意喚起	振興局 4 市 3

### 6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	パソコン、資料	モニター
②	拡声器、資料、ヘルメット、救急箱、南薩の森と海DVD、ツールパルス、輪尺	筆記用具、水筒、雨具、帽子
③	材料(スギ材)、のこぎり、かなづち、さしがね、インパクトドライバー、電動サンダ、軍手、紙やすり、釘、皿(釘入れ)、鉛筆、コードリール、図面	作業台

### 7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

(児童)  
 ・森林学習で知らなかったことがあったので知れてうれしかった。  
 ・木がどのように使われているか、林業がどんな仕事かわかった。  
 (先生方)  
 ・森林についての説明や木材についての有効活用等勉強させていただきました。  
 ・児童が楽しく活動している姿を見て感動しました。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【森林学習】



【薪の加工場見学】



【薪の加工場見学】



【伐採現場見学】



【伐採現場見学】



【木工教室（本棚）】



【木工教室（本棚）】



【木工教室（本棚）】

## 指宿市立 池田小学校

### 1 学習・体験のねらい

森林・林業の重要性と地域において林業が果たす役割についての学習と体験活動を通じ、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業や森林の意義について理解を深める。

### 2 学習・体験の位置づけ

社会科、図工、総合的な学習の時間

### 3 森林学習・体験活動の種別

①森林学習      ②木工教室      ③しいたけ駒打ち体験

### 4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和7年10月23日（木）	13:50～14:35	教室	5、6年	8	1	9
②	令和7年11月28日（金）	9:30～12:15	図工室	5、6年	8	1	9
③	令和7年12月13日（土）	9:30～11:15	体育館	5、6年	8	1	9
合 計							
					24	3	27

### 5 学習・体験の進め方（スケジュール）

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者（人）
①	森林・林業の学習活動を通じ、地球温暖化防止や生物多様性に関する森林・林業の果たす役割等について学習する。		振興局 1
②	県産木材を利用した、「椅子」づくりによる木とのふれあいを通じて、木工工作の楽しさと木のぬくもりについて学習する。	道具等（のこぎり、金槌、釘）の取扱について注意喚起	振興局 3
③	森の恵みである原木しいたけについて学習し、駒打ちの体験を行う。 山から生み出される木材から、制作された木製のピンを倒す「モルック」体験を通して、木材の良さに触れる。	道具等（ドリル、金槌）の取扱について注意喚起	振興局 2

### 6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	パソコン、資料	モニター
②	材料（スギ材）、のこぎり、かなづち、さしがね、インパクトドライバー、電動サンダ、軍手、紙やすり、釘、皿（釘入れ）、鉛筆、コードリール、図面	作業台
③	原木、種駒、ドリル、ドリルきり、金槌、コードリール、ブルーシート、尺棒、チョーク、モルック	

### 7 ふり返り（担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋）

- ・座学では森林の役割等についてわかりやすく教えてもらえて良かった。
- ・椅子づくりでは子供たちが集中して楽しみながら作ることができた。
- ・しいたけの駒打ち体験は親子で協力しながら汗を流すことができ、モルック体験も楽しいひと時を送ることができた。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【森林学習】



【木工教室】



【木工教室】



【木工教室】



【しいたけ駒打ち体験】



【しいたけ駒打ち体験】



【しいたけ駒打ち体験】



【活動後の感想発表】

令和7年度森林環境教育推進事業  
**南九州市立 青戸小学校**

1 学習・体験のねらい

森林・林業の重要性と地域において林業が果たす役割についての学習と体験活動を通じ、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業や森林の意義について理解を深める。

2 学習・体験の位置づけ

学級レクリエーション

3 森林学習・体験活動の種別

①木工教室（本棚、傘立て）

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和7年8月30日（土）	13:00～15:30	図工室	5年	14	1	15
	合 計		(延べ人数)		14	1	15

5 学習・体験の進め方（スケジュール）

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者（人）
①	県産木材を利用した、「本棚」づくりによる木とのふれあいを通じて、木工工作の楽しさと木のぬくもりについて学習する。	道具等（のこぎり、金槌、釘）の取扱について注意喚起	振興局 1

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	材料（スギ材）、のこぎり、かなづち、さしがね、インパクトドライバー、電動サンダ、軍手、紙やすり、釘、皿（釘入れ）、鉛筆、コードリール、図面	作業台

7 ふり返り（担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋）

（学校）

- ・材料道具の準備が万全でスムーズに進めて頂けました。
- ・保護者児童ともに楽しい時間を過ごさせていただきました。

（児童）

- ・木の種類を教えてくださいありがとうございます。
- ・本棚のおかげで机が整理できました。



令和7年度森林環境教育推進事業  
**出水市立 下水流小学校**

1 学習・体験のねらい

森林・林業の重要性と地域において林業が果たす役割についての学習を通じ、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業や森林を未来に引き継ぐことの意義について理解を深める。

2 学習・体験の位置づけ

理科、社会科、図工、総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①森林のはたらきの学習      ②木工体験

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和8年2月12日(木)	9:30~12:05	図工室・パソコン室	5年生	33	3	36
②	同日						
合 計 (延べ人数)					33	3	36

5 学習・体験の進め方 (スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者 (人)
①	生き物としての樹木と材料としての木材。森林、環境、温暖化、SDGsをキーワードに「林業」についての理解を深める。	・糸ノコ盤の操作に気をつけて！	振興局      2
②	自分だけのオリジナル木製時計作り。材料に手で触れ、温かみや柔らかさ、重厚感を感じつつ「木材を使うこと」への理解を深める。	・ヤスリがけ時、細かな木の粉が目に入らないように！	林業事業体 (木育インストラクター)      1

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	学習用補助資料	落ち着いて話が聞ける場所
②	木製時計材料一式 (スギ板、クォーツ時計キット、小枝スライス、どんぐり、☆キラキラシール)、糸ノコ盤、紙やすり、当て木、木工用接着剤、カラーペン、紙皿、救急箱	雨天時でも作業可能な場所

7 ふり返り (担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

(先生方)

- ・子どもたちが一生懸命取り組むことができるように、場所や時間設定にも配慮してくださり、細かな準備をしていただいたことが、とてもありがたかったです。
- ・子どもたちの「やりたい」に可能な限り応えてくださり、これからの学習に向けて意欲が高まったと思います。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【 説明によく耳を傾けて 】



【 作業にとりかかります 】



【 糸ノコ盤の操作は慎重に 】



【 みんなが画伯 】



【 好みのレイアウトに 】



【 たまにお手伝いしてもらいながら 】



【 おお、いい感じに... 】



【 みんなのオリジナルが完成 】

令和7年度森林環境教育推進事業  
**さつま町立 薩摩小学校**

1 学習・体験のねらい

木工体験による木とのふれあいや、森林学習を通じて森林の公益的機能や地域の林業の役割を学ぶとともに、自分たちが自然の中で多様な生物と共存していることを理解させる。

2 学習・体験の位置づけ

図工・社会の授業

3 森林学習・体験活動の種別

① 木工(本棚製作)体験活動(3年生)      ② 森林・林業学習(5年生)

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和8年1月22日	9:40~11:20	薩摩小学校体育館	3年	10	3	13
②	令和8年2月25日	11:30~12:15	薩摩小学校5年教室	5年	7	2	9
合 計 (延べ人数)					17	5	21

5 学習・体験の進め方(スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	森の働きや木材の特性等を学習した後、木製本棚を作成し、木の特性などについて学ぶ。	工具による怪我に注意する	振興局 1 森林・林業教育指導員 1 市町村 2
②	5年生の社会の授業内容に合わせて、森林の役割や「林業」について学ぶ。	—	振興局 1

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	資料15部、本棚材料、金槌、救急箱	ブルーシート
②	パソコン(パワーポイント)、実験用資材	(なし)

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

**【学校アンケート結果】**  
(木工体験活動)  
・初めての釘打ちの子どももいたと思いますが、専門の方が指導してくださったので安心して活動することができた。  
・うまくできていないところはフォローしていただけたので助かりました。満足のいく作品ができあがって子どもたちはとても喜んでいました。  
・指導の方が4人来てくださったのでなんとかできましたが、8ミリを測るのは3年生には難しかったです。  
(森林・林業学習)  
・鹿児島県やさつま町の現状について説明してくださったので、児童の興味・関心も高まった、また、実験により山の保水力がよく分かった。  
(担当者意見)  
・高性能林業機械による伐倒などの作業状況を動画で紹介したところ、チェーンソーは知っているが、同機械を知らない児童がほとんどで、林業の現場においても機械化が進んでいることについて理解が深まった様子であった。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【①木工体験活動（3年生）】



【①木工体験活動（3年生）】



【①木工体験活動（3年生）】



【①木工体験活動（3年生）】



【②森林・林業学習（5年生）】



【②森林・林業学習（5年生）】



【②森林・林業学習（5年生）】



【②森林・林業学習（5年生）】

令和7年度森林環境教育推進事業  
**さつま町立 柏原小学校**

1 学習・体験のねらい

森林の多面的機能や人との関わりについて理解を深め、自然を大切にする心を育むとともに、森林環境の重要性に対する理解を深めてもらうことを目的に小学校の児童に対して森林・林業に関する学習を行った。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①森林教室、木工体験      ②森林教室、木工遊具体験

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和7年11月5日	8:25～11:55	体育館	4年生	15	3	18
②	令和7年11月12日	9:20～10:05	体育館・校庭	5年生	16	3	19
合 計 (延べ人数)					31	6	37

5 学習・体験の進め方（スケジュール）

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者（人）
①	「森林の働きと森林を育てる林業」についての学習を行った。 山から生産された木材を用いて、自ら木製椅子を作成することにより、木のぬくもりや木材の良さを体験した。	キリやドリルの取扱に注意	支庁・振興局 2 森林・林業教育指導員 1
②	「森林の大切なはたらき」についての学習を行った。 木製遊具を使用することで、木のぬくもりや木材の良さを体験した。	特になし	支庁・振興局 1 森林・林業教育指導員 1

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	説明資料、パソコン、木製椅子キット、工作用具一式	プロジェクター スクリーン ブルーシート
②	説明資料、モルック一式	

7 ふり返り（担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋）

- ・他の授業で環境問題について学習していたため、森林環境教育の学習も身近に感じる事ができた。
- ・森で働く機械を見たり乗ったりしてみたい。
- ・生徒たちだけで難しい工作に取り組むことができ、木にふれる貴重な時間となった。
- ・どこまで人間が森を管理しているのか知りたい。
- ・木の種類をもっと知りたい。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【①木工（木製椅子）体験】



【①木工（木製椅子）体験】



【①木工（木製椅子）体験】



【①木工（木製椅子）体験】



【②木製遊具（モルック）体験】



【②木製遊具（モルック）体験】

令和7年度森林環境教育推進事業

**霧島市立 大田小学校**

1 学習・体験のねらい

森林・林業の重要性と地域において林業が果たす役割についての学習と体験活動を通じ、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業や森林の意義について理解を深める。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①森林環境教育 ②シイタケ駒打ち ③ 木工体験（木製小箱作成）

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
① ～ ③	令和7年12月17日(水)	14:00～15:40	①②校庭 ③多目的室	3、4年生	28	3	31
合 計 (延べ人数)					28	3	31

5 学習・体験の進め方（スケジュール）

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者（人）
①	森林のはたらき、地球温暖化や林業の山の仕事(林業)についての学習を実施した。	—	振興局 2
②	原木しいたけがどのようにしてできるのか、栽培方法（原木栽培と菌床栽培の違い）、きのこの種類、栄養素を学習するとともに、駒打ち体験を実施した。	ドリルの取扱について指導	振興局 2
③	杉板から小箱を作り、スギ材の手触り、香り、木の温かみ等を感じてもらうとともに、木の特性や木工の方法を学習した。	工具の取扱について指導	振興局 2

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	資料	
②	ほだ木、種駒、ドリル、ブルーシート、台座、コードリール、パネル	箒、ちり取り
③	作成手順のペーパー、スギ板、金槌、釘抜き、クギ、鉛筆、紙やすり（2種類）、マッキー、コードリール、釘用の小皿、ゴミ袋	箒、ちり取り

7 ふり返り（担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋）

- ・食育とも関連づけることができ、意義深い活動であった。
- ・木工は凶工で釘打ちを経験するので、その学習が深まる機会となった。
- ・しいたけが嫌いだけど、好きになりました。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【森林環境教育】



【森林環境教育】



【シイタケ駒打ち】



【シイタケ駒打ち】



【木工体験（木製小箱作成）】



【木工体験（木製小箱作成）】



【木工体験（木製小箱作成）】



【木工体験（木製小箱作成）】

## 伊佐市立 本城小学校

### 1 学習・体験のねらい

スギ板を使用した本立て製作と原木しいたけの駒打ち体験を通じて、森林からの恵みや森林の働き、森林資源の循環利用について理解を深めてもらう。

### 2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

### 3 森林学習・体験活動の種別

①しいたけ駒打ち体験 ②木工体験（本立て）

### 4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童 生徒数	教職員数	計
①	令和8年1月21日(水)	13:50~15:20	校 庭	3年生	8	3	11
②	令和8年1月22日(木)	9:20~11:05	多目的教室	6年生	11	3	14
合 計 (延べ人数)					19	6	25

### 5 学習・体験の進め方（スケジュール）

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者（人）
①	原木しいたけがどのようにしてできるのか、原木栽培と菌床栽培の違い、栽培方法、栄養素等を学習するとともに、駒打ち体験と収穫体験を実施した。	ドリルの取扱について指導	振興局 2
②	スギ材の特徴、木材の用途、森林・林業の仕事、森林資源の循環利用について学習するとともに、スギ材を使用した本立てを製作した。	工具の取扱について指導	振興局 2

### 6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	森林学習用リーフレット（きのこって何？）、クヌギ原木、種駒、金槌、ドリル、ドリルの刃、チョーク、コードリール、子供用軍手、種駒用の小皿	ブルーシート、ほうき、ちりとり
②	森林学習用リーフレット（かごしまの杉の木）、本立て製作の図面、スギ板、のこぎり、金槌、釘抜き、クギ、さしがね、鉛筆、紙やすり（2種類）、コードリール、釘用の小皿、ゴミ袋	のこぎり用の図工椅子、ブルーシート、ほうき、ちりとり

### 7 ふり返り（担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋）

- ・学校からの要望で3年生はしいたけ駒打ち体験、6年生は木工体験を実施。（児童）
- ・他の作品も作ってみたい。
- ・森にあるもの（森の恵み）を採ってみたい。（先生方）
- ・しいたけ駒打ち体験では仮伏せまで完了し、校内のほだ場で収穫体験ができた。また、木工体験は児童全員が時間内に作品を完成させることができた。
- ・継続的に体験活動を行うことで子供達の意識が高まるので、今後も続けたい。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【しいたけ駒打ち体験（栽培方法等）】



【ドリルによる穴開け作業】



【駒打ち作業】



【仮伏せ作業】



【木工体験（のこぎりの使用）】



【とんかちと釘で組立作業】



【とんかちと釘で組立作業】



【完成】

## 始良市立 竜門小学校

1 学習・体験のねらい

森林の持つ公益的機能の重要性や木材を利用することの意義について、森林学習や木材加工体験を通じて理解を深めてもらう。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①森林・林業に関する学習      ②製材所見学・植樹体験活動

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和7年12月3日(水)	13:50~14:50	教室	5~6年生	14名	1名	15名
②	令和8年1月10日(土)	8:30~10:55	霧島市溝辺町竹子地内	5~6年生	12名	1名	13名
合 計 (延べ人数)					26名	2名	28名

5 学習・体験の進め方 (スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者 (人)
①	地球温暖化防止と森林のはたらきについての学習を実施した。	—	振興局 1
②	管内の製材所の見学を行い、丸太がどのように製品に加工されていくのか、また植樹体験活動を実施することで「木を使うこと」と「植えて育てること」の重要性について理解を深めた。	製材所の機械に注意、ディブル、山鋸の取り扱いの指導	振興局等 3 森林・林業教育指導員 1

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	森林学習用資料 20 部、パソコン	大型ディスプレイ
②	ディブル、山鋸、スギコンテナ苗 50 本、手袋	

7 ふり返り (担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

(児童)  
 ・どうやって木を切るのか知りたいです。  
 きのこはどんなところで育つのか。  
 (先生方)  
 ・2回の活動を通して、森林のはたらきや木材を使うこととセットで「植えて育てること」ことの重要性を伝えることができた。  
 ・植樹がこの先の未来に関わる大事な活動であることを体験的に学べた。森林学習の際に児童が話し合ったり考えたりする時間を設けられたら、なおよかった。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【森林学習（森林のはたらき等）】



【製材所見学】



【製材所見学】



【製材所見学】



【植樹体験活動】



【植樹体験活動】

令和7年度森林環境教育推進事業  
**志布志市立 香月小学校**

1 学習のねらい

森林・林業に関する学習や体験活動等を通じて、人々の生活や環境と森林・林業との関係について理解と関心を深めることにより、森林と人々が共生する社会の実現や地域の森林を守る、育てる、活用する意識の醸成を深める。

2 学習の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

① 森林学習、しいたけ駒打ち体験

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和8年2月25日(水)	13:55~15:35	校内	3年生	33人	1人	34人
	合 計		(延べ人数)		33人	1人	34人

5 学習の進め方(スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	しいたけ生産についてリーフレット等を使用し、森林学習を実施。その後、原木しいたけの駒打ちを実演指導。種駒の植菌、伏せ込み作業を行った。(3年生)	ドリルやほだ木の取扱に注意	振興局 3

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	原木80本、種駒1600個、ドリル・金槌、チラシ、延長ドリル、救急箱	筆記用具

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

(児童)  
 ・しいたけがどのようにしてできるのかよくわかった。  
 ・ドリルで穴をあける作業がたのしかった。

(先生方)  
 ・森林・林業の必要性を説明(森林学習)した上で体験活動を行ったこと、指導者がきめ細やかに児童の様子を把握し、適切に指導していただいたことが良かった。  
 ・担任が準備する負担等がないため、働き方改革が進む学校現場を預かる管理者として、県のサポートはとてもありがたい。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【森林・林業学習】



【種駒打ちの方法に関する学習】



【駒打ち作業】



【ほだ木の伏せこみ作業】

令和7年度森林環境教育推進事業  
**曾於市立 月野小学校**

1 学習のねらい

森林・林業に関する学習や体験活動等を通じて、人々の生活や環境と森林・林業との関係について理解と関心を深めることにより、森林と人々が共生する社会の実現や地域の森林を守る、育てる、活用する意識の醸成を深める。

2 学習の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

① 森林学習、木工体験

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和7年9月16日（月）	9:45～12:25	校内	1～6年生	46人	6人	52人
	合 計						(延べ人数)
					46人	6人	52人

5 学習の進め方（スケジュール）

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者（人）
①	県産材を利用した木工体験（コースターづくり）を通じて、木のぬくもりや優しさを感じるとともに、木がどうやって成長していくのか学習した。（1～4年生）	紙やすり等の道具の取扱を注意指導	振興局 1 市 1
	県産材を利用した木工体験（ファイル立てづくり）を通じて、地域における森林・林業・木材産業と自分たちの生活との関係について理解を深めた。（5～6年生）	金槌等の道具の取扱を注意指導	振興局 1 市 1

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	資料（リーフレット）、丸太、板、紙やすり（1～4年生）	筆記用具 新聞紙
	資料（リーフレット）、木工工具（金槌等）（5～6年生）	新聞紙

7 ふり返り（担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋）

- ・身近にありながら、普段あまり気にしていない森林について、考え、目を向ける良いきっかけになったと思う。
- ・木工体験を通して、木材に対する理解を深めることができた。
- ・森林・林業の必要性を説明（森林学習）した上で体験活動を行ったこと、指導者がきめ細やかに児童の様子を把握し、適切に指導していただいたことが良かった。
- ・担任が準備する負担等がないため、働き方改革が進む学校現場を預かる管理者として、県のサポートはとてもありがたい。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【森林学習（1～4年生）】



【森林学習（5～6年生）】



【木工体験（1～4年生）】



【木工体験（5～6年生）】

令和7年度森林環境教育推進事業  
**南大隅町立 神山小学校**

1 学習のねらい

森林・林業における様々な体験活動等を通じて、人々の生活や環境と森林・林業との関係について理解と関心を深めることにより、森林と人とが共生する社会の実現や地域の森林を守る、育てる、活用する意識の醸成を深める。

2 学習の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

② 森林学習、伐採現場・製材工場見学      ② 植樹活動      ③ 木工教室

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和7年10月16日(木)	8:50~12:00	現 地	5年生	32人	2人	34人
②	令和7年11月12日(水)	8:50~12:00	現 地	4年生	31人	2人	33人
③	令和8年2月14日(土)	8:30~11:00	体育館	6年生	22人	3人	25人
合 計 (延べ人数)					85人	7人	92人

5 学習の進め方 (スケジュール)

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者 (人)
①	・学校近くのスギ間伐施行地で循環する森林・林業の重要性と林業が果たす役割について学習した。 その後、色々な高性能林業機械のよる伐採作業の見学や、伐採された丸太が、地元製材所で柱や木材チップなどに活用される状況を見学した。	・伐採地や製材所など見学場所での機械等に注意指導	振興局 2 森林・林業教育指導員 1 森林組合 3 製材所 2
②	・スギ伐採地に地元森林組合の指導のもと、色々な道具を使ってスギコンテナ苗500本の植栽を実施した。その後、地域の特用林産物である枝物の圃場を見学し、生産者から枝物の活用について学習した。	・植栽での道具の安全使用	振興局 2 森林・林業教育指導員 1 森林組合 3 生産者 2
③	・地域産材を利用した木工体験(長椅子)を通じて、木のぬくもりや優しさを感じるとともに、資源としての多様な木材活用を学習した。	・ドリルや金槌等の取扱、塗料作業の換気を注意指導	振興局 2 町 1 森林・林業教育指導員 1

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	ヘルメット、資料(リーフレット)	服装・長靴・水筒
②	スギコンテナ苗、ディブル、ヘルメット、資料(リーフレット)	服装・長靴・水筒
③	長椅子キット、塗料、刷毛等 資料(リーフレット)	新聞紙等

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

・事前の準備・打合せまでとても細やかな配慮してもらった。  
 ・子どもたちの実態に合わせて、当日のスケジュールも臨機応変に対応していただき子どもたちがじっくりと活動を楽しむことができた。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【森林学習とスギ間伐箇所見学】



【製材所見学（丸太の色々な活用）】



【植栽体験（スギコンテナ苗）】



【植栽体験（植付道具：ディブル）】



【木工教室（卒業記念制作）】



【木工教室（卒業記念制作）】

## 肝付町立 国見中学校

### 1 学習のねらい

森林・林業に関する学習や体験活動等を通じて、人々の生活や環境と森林・林業との関係について理解と関心を深めることにより、森林と人々が共生する社会の実現や地域の森林を守る、育てる、活用する意識の醸成を深める。

### 2 学習の位置づけ

総合的な学習の時間

### 3 森林学習・体験活動の種別

① 森林学習      ② 伐採現場見学、木材市場見学      ③ 木材加工施設見学、植栽体験

### 4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計	
①	令和7年6月11日(水)	11:50~12:40	中学校内	1~3年生	26人	8人	34人	
②	令和7年7月3日(木)	9:00~15:00	現地、市場	1~3年生	26人	5人	31人	
③	令和7年11月6日(木)	9:00~15:00	工場、現地	1~3年生	26人	5人	31人	
合 計					(延べ人数)	78人	18人	96人

### 5 学習の進め方（スケジュール）

	学習の手順・ポイント	安全管理	指導者（人）
①	・鹿児島県の森林、林業全般について説明するとともに、林業の仕事や林業に必要な人材について、資料や動画を交えて紹介した。	・特になし	振興局      2
②	・実際の伐採現場及び伐採後の木材が搬入される市場の見学を行い、木材の流れを目で見て体験してもらう。 また、木のぬくもりに触れてもらうため、木製積木による早積み競争ゲームを行った。 ドローンによる森林調査の説明を行い、ドローンの操作体験を行った。	・見学時のヘルメット着用、立木伐倒時の安全な距離の確保	振興局      2 森林組合      3 木材市場      1
③	・「伐って」、「使って」、「植えて」を体験してもらうため、2回目の学習からの流れで、木材加工施設の見学と植栽体験を実施。 植栽体験は、2回目の学習で見学した伐採現場で行い、スギコンテナ苗を植栽した。	・見学時のヘルメット着用、植栽体験時の軍手着用と安全距離の確保	振興局      2 加工施設      1 森林組合      3

### 6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	説明用資料、データ等	筆記用具
②	ヘルメット、説明資料、木製積木、ドローン	筆記用具
③	ヘルメット、説明資料、コンテナ苗、クワ等	筆記用具、軍手

### 7 ふり返り（担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋）

・「伐って」、「使って」、「植えて」を体験させることができた。  
・実体験を通して理解を深めることができた。  
・地域産業と環境保全のつながりを学ぶことができた。  
・環境教育とキャリア教育の双方に効果があった。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【森林学習の実施】



【木材市場見学】



【積木早積み競争】



【木材加工施設見学】



【植栽体験】

令和7年度森林環境教育推進事業  
**屋久島町立 一湊小学校**

1 学習・体験のねらい

森林の働きや森林を育てる林業についての学習と体験活動を通じて、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域の森林・林業を未来に引き継ぐことの意義について理解を深める。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

① 森林学習・製材工場見学    ② 森林学習・木工教室

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和7年11月13日(木)	9:40~12:20	製材所	5~6年生	12	4	16
②	令和8年2月26日(木)	9:40~12:20	体育館	5~6年生	12	4	16
合 計 (延べ人数)					24	8	32

5 学習・体験の進め方(スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	地域の林業について、地元の現場技能者からの説明と伐採作業や高性能林業機械の動画の視聴等により学習した。その後、製材所職員から屋久島地杉の特性や製材についての説明と工場見学及び操作体験を実施した。	機械に近接しないよう注意喚起	支庁 3 森林・林業教育指導員 2
②	森林の役割や森林資源の循環利用の意義について説明した後、地域産材を利用した木工教室(本立て作り)を実施し、木のぬくもりや木材の良さを実体験により学習した。	道具の取扱について注意喚起	支庁 3

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	地元林業事業体の伐採作業や高性能林業機械での作業風景の動画、資料リーフレット	スクリーン、プロジェクター
②	「森林の働きと森林を育てる林業」のパワーポイント、資料(リーフレット)、木工教室用材料、のこぎり、金づち、釘、差し金、紙やすり、鉛筆	スクリーン、プロジェクター、ブルーシート、作業台

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

- ・地元林業事業体の作業風景の動画視聴や大型チェーンソーの実物に触れることで、地域の林業について理解が深まったと考えられる。
- ・製材工場見学や操作体験、木工教室を通じて、丸太が製材され、全ての資源が活用されていることを学習し、木材利用についての意義が理解されたと考える。
- ・生徒からは「森林のことをもっと知って森林から環境をより良くしていきたい」、「もっと木の育っているところを見て学びたかった」、先生からは「木材の加工について知ったり、実際に体験したりすることができた点良かった」などの意見があった。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【森林学習】



【森林学習】



【製材所見学】



【製材所見学】



【森林学習】



【木工教室】



【木工教室】



【木工教室】

## 奄美市立 住用中学校

1 学習・体験のねらい

森林・林業の果たす役割や重要性、奄美群島固有の生物多様性についての学習及び各種体験活動を通して、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業、森林を未来に引き継ぐことの意義について理解を深める。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①自然観察活動 ②木工体験活動 ③しいたけ駒打ち活動

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和7年12月19日	9:40～11:20	奄美自然観察の森	2～3年生	5	4	9
②	令和7年12月19日	14:00～16:00	奄美市木工工芸センター	〃	5	4	9
③	令和8年2月14日	9:45～11:35	住用中学校	〃	5	7	12
合 計 (延べ人数)					15	15	30

5 学習・体験の進め方 (スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者 (人)
①	龍郷町にある「奄美自然観察の森」において樹木や野鳥等を観察した。 また、園内の土壌に生息する土壌生物を観察することにより生物多様性について学習した。	ムカデ等による咬傷について注意喚起	奄美自然観察の森ガイド 1 大島支庁 2
②	リュウキュウマツのフォトフレーム製作を通して、木の特性や木工等について学習した。	木工機械による怪我について注意喚起	木育インストラクター 2 大島支庁 1
③	しいたけ駒打ち活動を通して、きのこの特性やしいたけの原木栽培、森林資源の活用等について学習した。	ドリルや金槌による怪我について注意喚起	森林・林業教育指導員 1 大島支庁 2

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	小型バス、双眼鏡、パット、スコップ、シャーレ、ピンセット、虫眼鏡、図鑑	軍手
②	リュウキュウマツフォトフレーム、各種木工機械、定規、接着剤、亜麻仁油	軍手
③	原木、種駒、作業台、ドリル、金槌、皿、定規、チョーク	コードリール、軍手

7 ふり返り (担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

(生徒)

- ・バードウォッチングをしてみたい。
- ・原木栽培のしいたけを食べてみたい。

(先生方)

- ・普段の学校生活では学べない貴重な体験をすることができた。

8 森林学習、森林・林業体験活動の状況



【①自然観察活動】



【①自然観察活動】



【②木工体験活動】



【②木工体験活動】



【②木工体験活動】



【③しいたけ駒打ち活動】



【③しいたけ駒打ち活動】



【③しいたけ駒打ち活動】

## 高校等を対象とした森林環境教育事業実績

### 1 目的

高校生等を対象に森林環境教育を実施することにより、森林・林業の果たす役割や重要性及び木材の良さなどについて理解を深め、林業・木材産業への就業や木材利用を促進する。

2 学校名 県立市来農芸高等学校

3 日時 令和7年12月9日(火) 13:40~15:30

4 場所 市来農芸高等学校、木材生産現場

5 対象者 環境園芸科 2・3年生 28名 教職員4名

### 6 内容

#### 【室内研修】

#### ○森林・林業教育

〔講師：林業専門普及指導員〕

- (1) 鹿児島県の森林の特徴
- (2) 森林のはたらき
- (3) 林業の役割と仕事
- (4) 森林・林業におけるSDGs
- (5) 木工体験（コースターづくり）

#### 【現地研修】

#### ○木材生産現場



### 7 事業の効果

木材生産の現場では、林業事業者による高性能林業機械を使用した伐採等の作業を見学し、林業の仕事で機械化が進んでいることを理解した。

また、現場で高性能林業機械を運転するための資格等については、かごしま林業大学校で取得できること学んだ。

### 8 改善すべき点

時間の関係上、川上側の木材生産だけになったが、川下側の加工施設や木造施設等も研修内容として取り入れられるよう早めに学校側と調整する必要がある。

## 高校等を対象とした森林環境教育事業実績

### 1 目的

高校生等を対象に森林環境教育を実施することにより、森林・林業の果たす役割や重要性及び木材の良さなどについて理解を深め、林業・木材産業への就業や木材利用を促進する。

2 学校名 県立国分高等学校

3 日時 令和7年11月14日(金) 9:00~14:50

4 場所 国分高等学校教室、

5 対象者 普通・理数科 1年生 29名 教職員2名

### 6 内容

#### 【室内研修】

○森林・林業教育、木工体験

〔講師：林業専門普及指導員〕

- (1) 鹿児島県の森林の特徴
- (2) 森林のはたらき
- (3) 林業の役割と仕事
- (4) 森林・林業におけるSDGs
- (5) 木工体験（コースター作り）

#### 【現地研修】

○製材所、木造施設、バイオマス発電施設



### 7 事業の効果

身近に木材加工施設や木造施設があることを初めて知った生徒が多く、貴重な体験ができ有意義な内容であったとともに、森林や木材、自然環境など各自見つめなおすきっかけになった。

### 8 改善すべき点

時間制限があったため、もう少しゆとりをもたせた内容で学校側と十分に調整・検討する必要がある。

## 高校等を対象とした森林環境教育事業実績

### 1 目的

高校生等を対象に森林環境教育を実施することにより、森林・林業の果たす役割や重要性及び木材の良さなどについて理解を深め、林業・木材産業への就業や木材利用を促進する。

2 学校名 県立大島北高等学校

3 日時 令和7年11月10日(月) 9:00~15:25

4 場所 大島北高等学校教室、奄美自然観察の森

5 対象者 普通・情報処理科 1、2年生 90名 教職員8名

### 6 内容

#### 【室内研修】

#### ○森林・林業教育

〔講師：林業専門普及指導員〕

- (1) 鹿児島県の森林の特徴
- (2) 森林のはたらき
- (3) 林業の役割と仕事
- (4) 森林・林業におけるSDGs
- (5) 木工体験（箸づくり（リュウキュウマツ））

#### 【現地研修】

#### ○奄美の森林生態系等



### 7 事業の効果

森林学習を通じて、身近な奄美の森林や貴重な動植物が存在することを見つめなおすきっかけづくりになった。

地域のリュウキュウマツを使った箸づくり体験では、木の肌さわりの匂いなどを感じるとることのできる体験であった。

### 8 改善すべき点

- ・離島ということもあり、学校側との調整方法等について検討する必要がある。

## 高校等を対象とした森林環境教育事業実績

### 1 目的

高校生等を対象に森林環境教育を実施することにより、森林・林業の果たす役割や重要性及び木材の良さなどについて理解を深め、林業・木材産業への就業や木材利用を促進する。

2 学校名 学校法人川島学園 鹿児島工学院専門学校

3 日時 令和7年11月19日(水) 13:20~14:10  
20日(木) 9:30~15:50

4 場所 鹿児島工学院専門学校教室、製材・プレカット工場、木造施設

5 対象者 建築デザイン学科 1年生 30名 教職員2名

### 6 内容

#### 【室内研修】

#### ○森林・林業教育

〔講師：林業専門普及指導員〕

- (1) 鹿児島県の森林の特徴
- (2) 森林のはたらき
- (3) 林業の役割と仕事
- (4) 森林・林業におけるSDGs
- (5) 木工体験（コースターづくり）

#### 【現地研修】

#### ○製材・プレカット工場、木造施設



### 7 事業の効果

建築を学び始めた建築デザイン学科1年生を対象に、林・林業に関する学習や住宅等の主要な材料となる木材について、丸太から製品になるまでを知る機会を与えられたことで、学校での学びに役立つことができた。

### 8 改善すべき点

時間の関係上、木材生産の現場の確保ができなかったことから、事前に学校側と時間の確保について十分に調整・検討する必要がある。

## 森林環境教育推進事業に関する問い合わせ先

小 ・ 中 学 校	<b>鹿児島地域</b> 鹿児島市・日置市・ いちき串木野市・三島村・十島村	鹿児島地域振興局 林務水産課 林務係 〒892-8520 鹿児島市小川町3-56 TEL 099-805-7362 FAX 099-805-7407
	<b>南薩地域</b> 枕崎市・指宿市・南さつま市・ 南九州市	南薩地域振興局 林務水産課 林務係 〒897-0031 南さつま市加世田東本町8-13 TEL 0993-52-1335 FAX 0993-52-1331
	<b>北薩地域</b> 阿久根市・出水市・薩摩川内市・ さつま町・長島町	北薩地域振興局 林務水産課 林務係 〒895-8501 薩摩川内市神田町1-22 TEL 0996-25-5509 FAX 0996-25-5670 北薩地域振興局 林務水産課 出水市駐在 〒899-0202 出水市昭和町18-18 TEL 0996-62-5915 FAX 0996-63-2542 北薩地域振興局 林務水産課 さつま町駐在 〒895-1811 薩摩郡さつま町虎居704-2 TEL 0996-52-4504 FAX 0996-52-4517
	<b>始良・伊佐地域</b> 霧島市・伊佐市・始良市・湧水町	始良・伊佐地域振興局 林務水産課 林務水産係 〒899-5212 始良市加治木町諏訪町12 TEL 0995-63-8159 FAX 0995-63-8325 始良・伊佐地域振興局 林務水産課 伊佐市駐在 〒895-2511 伊佐市大口里53-1 TEL 0995-23-5132 (直通) FAX 0995-23-5137
	<b>大隅地域</b> 鹿屋市・垂水市・曾於市・志布志 市・大崎町・東串良町・錦江町・ 南大隅町・肝付町	大隅地域振興局 林務水産課 林務第一係、林務第二係 〒893-0011 鹿屋市打馬二丁目16-6 TEL 0994-52-2161 FAX 0994-52-2166 大隅地域振興局 林務水産課 曾於市駐在 〒899-8102 曾於市大隅町岩川5677 TEL 099-482-0492 FAX 099-482-2571
	<b>熊毛地域</b> 西之表市・中種子町・南種子町・ 屋久島町	熊毛支庁 林務水産課 林務係 〒891-3192 西之表市西之表7590 TEL 0997-22-1133 FAX 0997-22-0474
<b>大島地域</b> 奄美市・大和村・宇検村・瀬戸内 町・龍郷町・喜界町・徳之島町・ 天城町・伊仙町・和泊町・知名町 ・与論町	大島支庁 林務水産課 林務係 〒894-8501 奄美市名瀬永田町17-3 TEL 0997-57-7285 FAX 0997-57-7290	
高 校 等	鹿児島県森林技術総合センター 普及指導・育成部 〒899-5302 始良市蒲生町上久徳182-1 TEL 0995-52-1834 FAX 0995-52-0078	